

開講学科	総合デザイン工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	測量実習	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		3年次	必修	18102601	
担当教員	高橋 正記 嶋田 大和	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	金曜日	6・7時限
授業の教育目的・目標	建築用地などの土地の形状や大きさを一意に定めるための点の位置の決定方法を体得する。				
学科の学習・教育目標との関係	都市計画や都市デザインに対する一級建築士としての基本的な技術の体得に関わっている。				
キーワード	測量器械の操作方法、トラバース測量、水準測量、平板測量、野外実習				
授業の概要	測量学基礎で講義した測量に使用されるトランシット・レベル・平板の操作方法を理解するとともに、実習を通してこれらの測量方法を体得する。また、近年建築現場で使用されているレーザー距離計やレーザーレベルの原理について講義する。				
授業の計画	第1回：	ガイダンス（実習日程の説明、班分け）	（担当：全教員）		
	第2回：	トランシットの操作方法	（担当：全教員）		
	第3回：	角観測の練習	（担当：全教員）		
	第4回：	トラバース測量（Ⅰ）	（担当：全教員）		
	第5回：	“（Ⅱ）	（担当：全教員）		
	第6回：	“（Ⅲ）	（担当：全教員）		
	第7回：	“（Ⅳ）	（担当：全教員）		
	第8回：	レベルの操作方法	（担当：全教員）		
	第9回：	水準測量（Ⅰ）	（担当：全教員）		
	第10回：	“（Ⅱ）	（担当：全教員）		
	第11回：	平板の操作方法	（担当：全教員）		
	第12回：	平板測量（Ⅰ）	（担当：全教員）		
	第13回：	“（Ⅱ）	（担当：全教員）		
	第14回：	“（Ⅲ）	（担当：全教員）		
	第15回：	レーザー距離計とレーザーレベルの原理 [講義]	（担当：全教員）		
受講条件・関連科目	測量学基礎の未受講者には受講を許可しない。				
授業方法	5名程度からなる班を組んで、各班には個別の実習テーマを課して行う。				
テキスト・参考書	建築測量[近藤・熊谷、理工図書] 地形測量[春日屋・高橋、（社）日本測量協会]				
成績評価	・試験（ %） ・レポート（80%） ・その他（受講態度 20%）				
履修上の注意	班単位で行うため、欠席はもちろんのこと遅刻・早退についても厳しくチェックする。				